

2023年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社十六フィナンシャルグループ  
コード番号 7380 URL <https://www.16fg.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 直樹

上場取引所 東 名

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員グループ管理統括部長 (氏名) 楠井 宏和  
兼グループ企画統括部長

TEL 058-207-0016

四半期報告書提出予定日 2022年11月25日 配当支払開始予定日 2022年12月1日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(記載金額、比率等は単位未満を切り捨てて表示しております。)

1. 2023年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期中間期	58,462	—	15,598	—	10,324	—
2022年3月期中間期	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年3月期中間期 △17,220百万円 (—%) 2022年3月期中間期 一百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期中間期	279.22	278.85
2022年3月期中間期	—	—

(注) 当社は2021年10月1日設立のため、前年中間期の計数及び対前年中間期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期中間期	7,192,939	382,898	5.2
2022年3月期	8,375,332	402,604	4.7

(参考) 自己資本 2023年3月期中間期 379,083百万円 2022年3月期 398,719百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2023年3月期	—	60.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 当社は2021年10月1日設立のため、2022年3月期第2四半期末までの計数は記載していません。

(注2) 配当金の内訳 2022年3月期期末 普通配当50円 記念配当20円 2023年3月期第2四半期末 普通配当50円 記念配当10円

(注3) 2022年3月期は、単独株式移転により当社の完全子会社となった株式会社十六銀行が1株当たり50円の間配当を実施しています。当社の期末配当と合計した場合、年間配当金は1株当たり120円に相当します。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△4.8	17,500	1.7	473.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.8「2. (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」の「(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期中間期	37,924,134 株	2022年3月期	37,924,134 株
② 期末自己株式数	2023年3月期中間期	882,599 株	2022年3月期	1,002,848 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2023年3月期中間期	36,973,300 株	2022年3月期中間期	— 株

(注)当社は2021年10月1日設立のため、前年中間期の計数は記載しておりません。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
3. 2023年3月期 第2四半期決算説明資料	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当中間連結会計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の第7波に加え、供給制約や急速に進む円安などに影響されながらも、社会・経済活動の正常化への期待感が高まり、企業の生産や設備投資に持ち直しの動きがみられたほか、個人消費は緩やかな回復に向けて動き出しました。前半は中国・上海などのロックダウンに伴う部品などの供給制約が自動車産業をはじめ幅広い業種の企業活動に影響を及ぼし、一旦は生産が足踏み状態となりましたが、後半には供給制約も解消に向かい、生産は持ち直しに向かいました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・原材料価格の高騰により世界的なインフレが加速し、欧米などの中央銀行が大幅な利上げに動くなか、日米金利差や貿易赤字の拡大などに起因する歴史的な円安が物価上昇に拍車をかけ、日本政府・日本銀行は9月に約24年ぶりとなる円買い・ドル売りの為替介入を強いられました。急速に進んだ円安は、仕入コストの上昇を通じて企業収益にマイナスの影響を与えたほか、販売価格などに転嫁する動きが広がり、個人消費などへの下押し圧力が強まりましたが、3年ぶりに行動制限がない春夏を迎えたことなどから人流が戻りつつあり、個人消費は緩やかな回復基調をたどりました。

当社グループの主要な営業基盤である岐阜・愛知両県におきましては、設備投資が横ばい圏内で推移したほか、生産や輸出は足踏み状態が続く、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられました。部品の供給制約は和らいだものの、自動車に使用する半導体不足の影響などから大手自動車メーカーが生産計画の下方修正を強いられ、当地域に集積する自動車関連産業にも影響が及びました。一方、新型コロナウイルス感染拡大の一服などにより、雇用・所得や個人消費には改善の動きがみられました。

こうした状況のなか、当中間連結会計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は584億62百万円、経常費用は428億64百万円となりました。

この結果、経常利益は155億98百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は103億24百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比1兆1,823億93百万円減少の7兆1,929億39百万円となり、負債は前連結会計年度末比1兆1,626億86百万円減少の6兆8,100億41百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比197億6百万円減少の3,828億98百万円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金等(譲渡性預金含む)は前連結会計年度末比50億13百万円増加の6兆2,443億4百万円、貸出金は前連結会計年度末比512億65百万円増加の4兆5,730億89百万円、有価証券は前連結会計年度末比581億72百万円減少の1兆4,010億50百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日公表の数値から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当中間連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	2,135,695	967,562
コールローン及び買入手形	—	10,000
商品有価証券	115	481
金銭の信託	11,611	12,616
有価証券	1,459,222	1,401,050
貸出金	4,521,824	4,573,089
外国為替	8,861	6,828
リース債権及びリース投資資産	54,544	53,626
その他資産	114,828	97,020
有形固定資産	58,312	57,767
無形固定資産	7,403	7,215
退職給付に係る資産	14,220	14,759
繰延税金資産	148	193
支払承諾見返	14,352	15,883
貸倒引当金	△25,809	△25,155
<b>資産の部合計</b>	<b>8,375,332</b>	<b>7,192,939</b>
<b>負債の部</b>		
預金	6,225,291	6,230,304
譲渡性預金	14,000	14,000
売現先勘定	133,747	92,167
債券貸借取引受入担保金	87,537	39,543
借入金	1,405,797	329,103
外国為替	1,594	2,120
その他負債	59,906	67,294
賞与引当金	1,369	1,302
退職給付に係る負債	6,172	6,148
睡眠預金払戻損失引当金	502	421
偶発損失引当金	708	736
特別法上の引当金	8	9
繰延税金負債	15,331	4,603
再評価に係る繰延税金負債	6,407	6,401
支払承諾	14,352	15,883
<b>負債の部合計</b>	<b>7,972,727</b>	<b>6,810,041</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当中間連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
資本金	36,000	36,000
資本剰余金	61,807	61,818
利益剰余金	238,135	245,889
自己株式	△2,221	△1,954
株主資本合計	333,721	341,752
その他有価証券評価差額金	49,188	21,732
繰延ヘッジ損益	—	484
土地再評価差額金	12,468	12,453
退職給付に係る調整累計額	3,341	2,659
その他の包括利益累計額合計	64,998	37,330
新株予約権	179	—
非支配株主持分	3,705	3,815
純資産の部合計	402,604	382,898
負債及び純資産の部合計	8,375,332	7,192,939

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
経常収益	58,462
資金運用収益	27,421
(うち貸出金利息)	19,000
(うち有価証券利息配当金)	7,305
役務取引等収益	11,993
その他業務収益	17,010
その他経常収益	2,037
経常費用	42,864
資金調達費用	810
(うち預金利息)	88
役務取引等費用	2,789
その他業務費用	17,277
営業経費	21,137
その他経常費用	849
経常利益	15,598
特別損失	90
固定資産処分損	67
減損損失	21
金融商品取引責任準備金繰入額	1
税金等調整前中間純利益	15,507
法人税、住民税及び事業税	4,124
法人税等調整額	950
法人税等合計	5,075
中間純利益	10,432
非支配株主に帰属する中間純利益	108
親会社株主に帰属する中間純利益	10,324

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
中間純利益	10,432
その他の包括利益	△27,652
その他有価証券評価差額金	△27,456
繰延ヘッジ損益	484
退職給付に係る調整額	△681
中間包括利益	△17,220
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△17,328
非支配株主に係る中間包括利益	108



(3) 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	36,000	61,807	238,135	△2,221	333,721
当中間期変動額					
剰余金の配当			△2,584		△2,584
親会社株主に帰属する 中間純利益			10,324		10,324
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		10		267	278
土地再評価差額金の取崩			14		14
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	10	7,754	266	8,031
当中間期末残高	36,000	61,818	245,889	△1,954	341,752

	その他の包括利益累計額					新株 予約権	非支配株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	49,188	—	12,468	3,341	64,998	179	3,705	402,604
当中間期変動額								
剰余金の配当								△2,584
親会社株主に帰属する 中間純利益								10,324
自己株式の取得								△1
自己株式の処分								278
土地再評価差額金の取崩								14
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△27,456	484	△14	△681	△27,667	△179	109	△27,737
当中間期変動額合計	△27,456	484	△14	△681	△27,667	△179	109	△19,706
当中間期末残高	21,732	484	12,453	2,659	37,330	—	3,815	382,898

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当中間連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済への影響は、現状の感染状況を踏まえて、影響が当連結会計年度内は継続するものと想定し、債務者によってその程度は異なるものの、当該想定範囲で連結子会社の貸出金等の信用リスクに影響があるとの仮定に基づいて、債務者区分の決定、債権の元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローの見積りを行っております。なお、当該仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書における(重要な会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。

また、新型コロナウイルス感染症の状況を含む外部環境や債務者の内部環境等の変化により、当初の見積りに用いた仮定が変化した場合は、債務者区分、キャッシュ・フローの見積りの変動や実際の貸倒損失の発生が当初の予想と異なることにより引当額が増減し、連結財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2022年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

1. 理由

株主還元の実現および地域社会への貢献による当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため

- |               |   |
|---------------|---|
| 2. 取得する株式の種類  | 普通株式                                    |
| 3. 取得する株式の総数  | 460,000株(上限)(自己株式を除く発行済株式総数に対する割合1.24%) |
| 4. 株式の取得価額の総額 | 1,200,000,000円(上限)                      |
| 5. 取得期間       | 2022年11月15日～2022年11月30日                 |
| 6. 取得方法       | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付   |

3. 2023年3月期 第2四半期決算説明資料

I	2023年3月期 第2四半期決算ハイライト	10
II	2023年3月期 第2四半期決算の概況	
	1. 損益状況【十六FG連結】 【十六銀行単体】	14
	2. 業務純益【十六銀行単体】	16
	3. 利鞘【十六銀行単体】	
	4. ROE【十六FG連結】 【十六銀行単体】	
	5. 有価証券の評価損益【十六FG連結】 【十六銀行単体】	17
	6. 自己資本比率(国内基準) 【十六FG連結】 【十六銀行連結】 【十六銀行単体】	18
III	貸出金等の状況	
	1. 銀行法、金融再生法に基づく不良債権の状況 【十六FG連結】 【十六銀行単体】	19
	2. 業種別貸出状況等	20
	①業種別貸出金【十六銀行単体】	
	②消費者ローン残高【十六銀行単体】	
	③中小企業等貸出比率【十六銀行単体】	
	3. 預金等、貸出金の残高【十六銀行単体】	
IV	2023年3月期の業績予想【十六FG連結】 【十六銀行単体】	21
	(ご参考)	
	1. 個人預り資産残高【十六銀行単体】	21
	2. 役務取引等利益【十六銀行単体】	
	3. 十六銀行の中間財務諸表	22

※ 当社は2021年10月1日設立のため、十六FG連結の2020年9月期、2021年9月期及び2021年3月末の計数は、参考として十六銀行を親会社とする十六銀行連結決算の計数を記載しております。

I 2023年3月期 第2四半期決算ハイライト ～十六FG連結決算～

**【連結】経常利益および最終利益は5期連続増益となりました。**

- 連結コア業務純益[6]は、役務取引等利益、その他業務利益(国債等債券損益を除く)の増加によるコア業務粗利益[1]の増加および経費[5]の減少により、前年同期比 35 億 76 百万円増加の 182 億 53 百万円となりました。
- 経常利益[14]は、与信関係費用および国債等債券損益の減少などにより、前年同期比 5 億 11 百万円増加の 155 億 98 百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益[20]は、前年同期比 7 百万円増加の 103 億 24 百万円となりました。経常利益[14]、親会社株主に帰属する中間純利益[20]はともに5期連続の増益となりました。
- 持株会社化による効率的なグループ経営により、連結修正OHRは経営計画で目標としている65%を大きく下回る54.76%となりました。

※ 持株会社化前の十六銀行の連結決算を含む。

損益状況【十六FG連結】 (百万円)					ご参考
No.	計算式	2021年9月中間期	2022年9月中間期	2021年9月中間期比	2022年9月中間期 業績予想
1	連結コア業務粗利益 [2+3+4]	37,831	40,350	2,519	
2	資金利益	26,692	26,611	△ 81	
3	役務取引等利益	8,468	9,203	735	
4	その他業務利益 (除く国債等債券損益)	2,670	4,536	1,866	
5	経費	23,154	22,097	△ 1,057	
6	連結コア業務純益 [1-5]	14,677	18,253	3,576	
7	国債等債券損益	383	△ 4,803	△ 5,186	
8	連結実質業務純益 [6+7]	15,060	13,449	△ 1,611	
9	与信関係費用	2,164	587	△ 1,577	
10	うち一般貸倒引当金繰入額	1,584	△ 760	△ 2,344	
11	うち不良債権処理額	581	1,350	769	
12	株式等関係損益	1,108	1,483	375	
13	その他臨時損益	1,081	1,251	170	
14	経常利益 [8-9+12+13]	15,087	15,598	511	14,000
15	特別損益	△ 6	△ 90	△ 84	
16	税金等調整前中間純利益 [14+15]	15,081	15,507	426	
17	法人税等合計	4,393	5,075	682	
18	中間純利益 [16-17]	10,687	10,432	△ 255	
19	非支配株主に帰属する中間純利益	370	108	△ 262	
20	親会社株主に帰属する中間純利益 [18-19]	10,317	10,324	7	9,600
21	連結修正OHR (%)	61.20	54.76	△ 6.44	

※ 連結修正OHR = 経費 ÷ 連結コア業務粗利益 × 100

I 2023年3月期 第2四半期決算ハイライト ～十六銀行単体決算～

**コア業務純益は中間期として過去最高となりました。**

- コア業務純益[9]は、役務取引等利益、その他業務利益(国債等債券損益を除く)の増加によるコア業務粗利益[1]の増加および経費[5]の減少により前年同期比 35 億 58 百万円増加し、中間期として過去最高の 167 億 54 百万円となりました。
- 経常利益[18]は、与信関係費用および国債等債券損益の減少などにより前年同期比 3 億 70 百万円増加し、5 期連続増益の 142 億 21 百万円となりました。
- 中間純利益[22]は、法人税等調整額の増加により、前年同期比 4 億 15 百万円減少の 95 億 93 百万円となりました。

損益状況【十六銀行単体】				(百万円)		ご参考
No.	計算式	2021年9月中間期	2022年9月中間期		2022年9月中間期 業績予想	
				2021年9月中間期比		
1	コア業務粗利益 [2+3+4]	32,914	35,461	2,547		
2	資金利益	26,852	26,579	△ 273		
3	役務取引等利益	5,527	6,265	738		
4	その他業務利益 (除く国債等債券損益)	534	2,616	2,082		
5	経費	19,717	18,706	△ 1,011		
6	人件費	10,085	9,269	△ 816		
7	物件費	8,081	7,985	△ 96		
8	税金	1,549	1,451	△ 98		
9	コア業務純益 [1-5]	13,196	16,754	3,558		
10	コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	12,909	16,672	3,763		
11	国債等債券損益	383	△ 4,803	△ 5,186		
12	実質業務純益 [9+11]	13,580	11,951	△ 1,629		
13	与信関係費用	1,947	503	△ 1,444		
14	うち一般貸倒引当金繰入額	1,534	△ 734	△ 2,268		
15	うち不良債権処理額	413	1,238	825		
16	株式等関係損益	1,091	1,493	402		
17	その他臨時損益	1,126	1,280	154		
18	経常利益 [12-13+16+17]	13,851	14,221	370	13,000	
19	特別損益	△ 4	△ 72	△ 68		
20	税引前中間純利益 [18+19]	13,846	14,148	302		
21	法人税等合計	3,838	4,554	716		
22	中間純利益 [20-21]	10,008	9,593	△ 415	9,300	
23	修正OHR (%)	59.90	52.75	△ 7.15		
24	顧客向けサービス業務利益	5,909	7,457	1,548		

※ 修正OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益 × 100

※ 顧客向けサービス業務利益 = (貸出金平均残高 × 預貸金粗利轄 × 期中日数 ÷ 365 日) + 役務取引等利益 - 営業経費

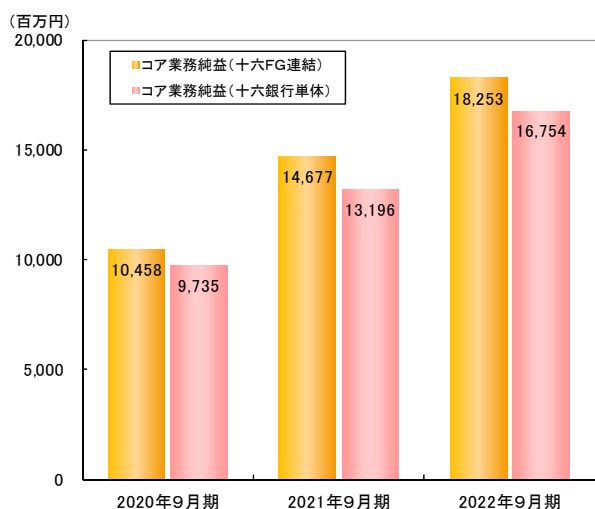
※ 2021年9月中間期は貸倒引当金の計上基準の変更により一般貸倒引当金繰入額が 11 億 26 百万円増加しています。

## I 2023年3月期 第2四半期決算ハイライト ～収益性～

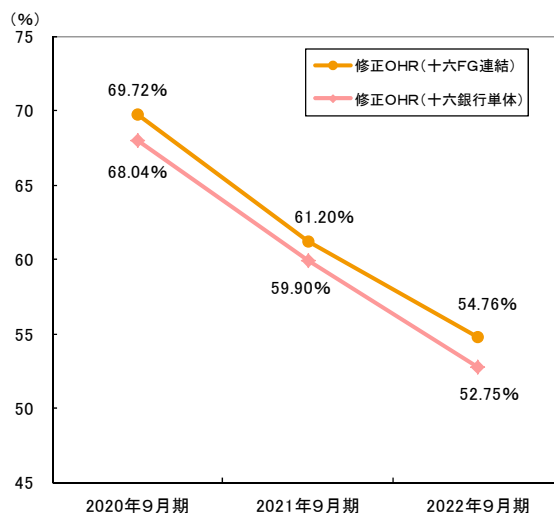
➢十六銀行単体のコア業務純益は、コア業務粗利益の増加および経費の減少により、中間期として過去最高の167億54百万円となりました。

➢修正OHRは、十六FG連結では54.76%、十六銀行単体では52.75%となり、ともに50%台前半となりました。

### ◆コア業務純益の推移



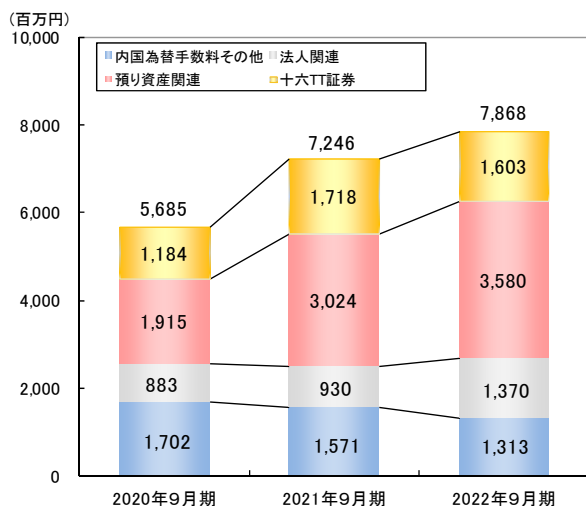
### ◆修正OHRの推移



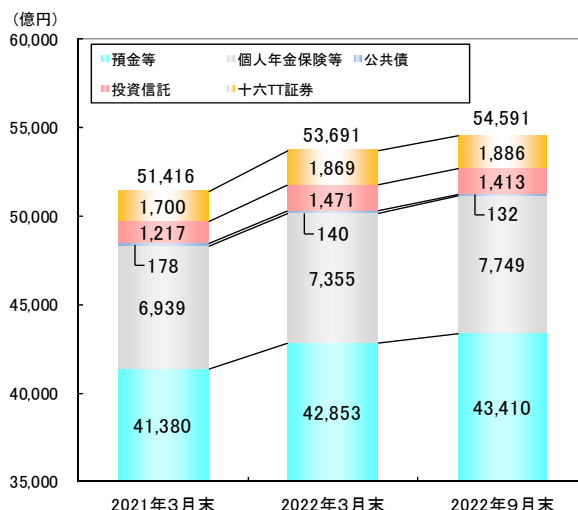
➢手数料関連収益(十六TT証券含む)は、預り資産関連が前年同期比5億56百万円、法人関連が同4億40百万円増加しました。

➢個人預り資産残高(十六TT証券含む)は、預金を中心に順調に増加しました。

### ◆手数料関連収益の推移



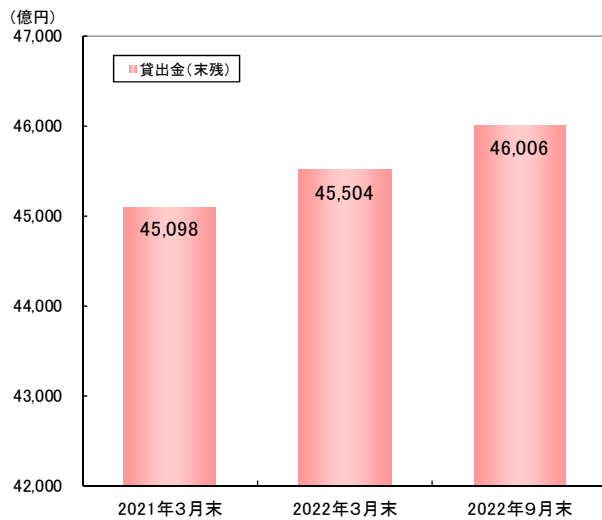
### ◆個人預り資産残高の推移



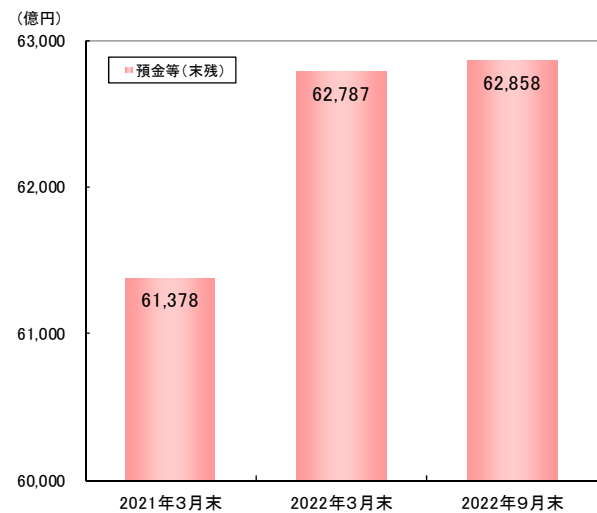
## I 2023年3月期 第2四半期決算ハイライト～成長性・健全性・グループ経営～

➤貸出金の末残は、2022年3月末比502億円増加の4兆6,006億円、預金等の末残は、2022年3月末比71億円増加の6兆2,858億円といずれも堅調に推移しました。

### ◆貸出金残高の推移【十六銀行単体】

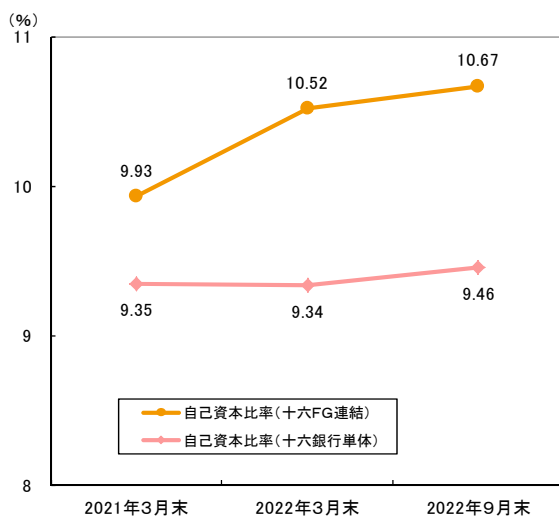


### ◆預金等残高の推移【十六銀行単体】

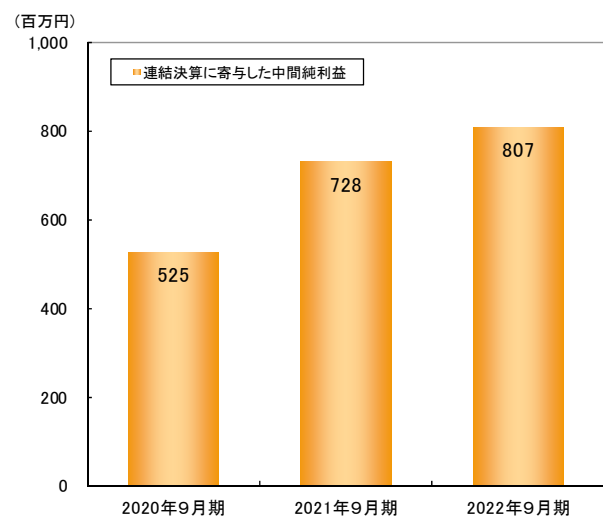


➤十六FG連結自己資本比率は、2022年3月末比0.15ポイント上昇の10.67%となりました。  
 ➤銀行を除く連結子会社の連結決算に寄与した中間純利益は前年同期比79百万円増加しました。

### ◆自己資本比率の推移



### ◆子会社(十六銀行を除く)の十六FG連結決算に寄与した中間純利益



II 2023年3月期 第2四半期決算の概況

1. 損益状況

【十六FG連結】

(百万円)

		2021年9月中間期	2022年9月中間期	2021年9月中間期比
経常収益	1	55,761	58,462	2,701
連結業務粗利益	2	38,214	35,547	△ 2,667
資金利益	3	26,692	26,611	△ 81
役務取引等利益	4	8,468	9,203	735
その他業務利益	5	3,054	△ 267	△ 3,321
経費（除く臨時処理分）	6	23,154	22,097	△ 1,057
連結業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	7	15,060	13,449	△ 1,611
与信関係費用（①+②-③-④）	8	2,164	587	△ 1,577
①一般貸倒引当金繰入額	9	1,584	△ 760	△ 2,344
②不良債権処理額	10	581	1,350	769
貸出金償却	11	0	0	0
個別貸倒引当金繰入額	12	544	1,332	788
バルクセール売却損	13	3	17	14
偶発損失引当金繰入額	14	34	0	△ 34
その他	15	-	-	-
③貸倒引当金戻入益	16	-	-	-
一般貸倒引当金戻入益	17	-	-	-
個別貸倒引当金戻入益	18	-	-	-
④償却債権取立益	19	2	2	0
株式等関係損益	20	1,108	1,483	375
持分法による投資損益	21	-	-	-
その他	22	1,081	1,251	170
経常利益	23	15,087	15,598	511
特別損益	24	△ 6	△ 90	△ 84
固定資産処分損益	25	△ 4	△ 67	△ 63
減損損失	26	-	21	21
金融商品取引責任準備金繰入額	27	1	1	0
税金等調整前中間純利益	28	15,081	15,507	426
法人税、住民税及び事業税	29	4,441	4,124	△ 317
法人税等調整額	30	△ 48	950	998
法人税等合計	31	4,393	5,075	682
中間純利益	32	10,687	10,432	△ 255
非支配株主に帰属する中間純利益	33	370	108	△ 262
親会社株主に帰属する中間純利益	34	10,317	10,324	7

(注) 連結業務粗利益=(資金運用収益-(資金調達費用-金銭の信託運用見合費用))+ (役務取引等収益-役務取引等費用)  
+(その他業務収益-その他業務費用)

(参考)

(百万円)

連結業務純益	35	13,476	14,210	734
--------	----	--------	--------	-----

(注) 連結業務純益=連結業務粗利益-経費(除く臨時処理分)-一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	8	10	2
持分法適用会社数	0	0	-



【十六銀行単体】

(百万円)

		2021年9月中間期	2022年9月中間期	2021年9月中間期比
経常収益	1	39,101	41,562	2,461
業務粗利益	2	33,297	30,658	△ 2,639
(コア業務粗利益)	3	32,914	35,461	2,547
国内業務粗利益	4	29,961	31,091	1,130
(コア業務粗利益)	5	30,013	31,322	1,309
資金利益	6	24,535	25,091	556
役務取引等利益	7	5,487	6,229	742
その他業務利益	8	△ 61	△ 229	△ 168
(うち国債等債券損益)	9	△ 51	△ 231	△ 180
国際業務粗利益	10	3,336	△ 433	△ 3,769
(コア業務粗利益)	11	2,901	4,139	1,238
資金利益	12	2,317	1,487	△ 830
役務取引等利益	13	40	35	△ 5
その他業務利益	14	978	△ 1,956	△ 2,934
(うち国債等債券損益)	15	435	△ 4,572	△ 5,007
経費(除く臨時処理分)	16	19,717	18,706	△ 1,011
人件費	17	10,085	9,269	△ 816
物件費	18	8,081	7,985	△ 96
税金	19	1,549	1,451	△ 98
実質業務純益	20	13,580	11,951	△ 1,629
コア業務純益	21	13,196	16,754	3,558
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	22	12,909	16,672	3,763
①一般貸倒引当金繰入額	23	1,534	△ 734	△ 2,268
業務純益	24	12,045	12,685	640
うち国債等債券損益(5勘定戻)	25	383	△ 4,803	△ 5,186
国債等債券売却益	26	1,554	511	△ 1,043
国債等債券償還益	27	1	5	4
国債等債券売却損	28	1,029	5,080	4,051
国債等債券償還損	29	137	215	78
国債等債券償却	30	6	24	18
臨時損益	31	1,805	1,535	△ 270
②不良債権処理額	32	413	1,238	825
貸出金償却	33	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	34	376	1,220	844
バルクセール売却損	35	2	17	15
偶発損失引当金繰入額	36	34	0	△ 34
その他	37	—	—	—
③貸倒引当金戻入益	38	—	—	—
一般貸倒引当金戻入益	39	—	—	—
個別貸倒引当金戻入益	40	—	—	—
④償却債権取立益	41	—	—	—
(与信関係費用 ①+②-③-④)	42	1,947	503	△ 1,444
株式等関係損益	43	1,091	1,493	402
株式等売却益	44	1,170	1,696	526
株式等売却損	45	73	52	△ 21
株式等償却	46	4	151	147
その他臨時損益	47	1,126	1,280	154
経常利益	48	13,851	14,221	370
特別損益	49	△ 4	△ 72	△ 68
うち固定資産処分損益	50	△ 4	△ 67	△ 63
固定資産処分益	51	15	—	△ 15
固定資産処分損	52	19	67	48
うち減損損失	53	—	21	21
税引前中間純利益	54	13,846	14,148	302
法人税、住民税及び事業税	55	3,949	3,596	△ 353
法人税等調整額	56	△ 111	957	1,068
法人税等合計	57	3,838	4,554	716
中間純利益	58	10,008	9,593	△ 415

2. 業務純益【十六銀行単体】

(百万円)

	2021年9月中間期	2022年9月中間期	2021年9月中間期比
(1) 実質業務純益	13,580	11,951	△ 1,629
職員一人当たり(千円)	6,220	5,978	△ 242
(2) コア業務純益	13,196	16,754	3,558
職員一人当たり(千円)	6,045	8,381	2,336
(3) 業務純益	12,045	12,685	640
職員一人当たり(千円)	5,517	6,345	828

3. 利鞘【十六銀行単体】

(%)

	2021年9月中間期	2022年9月中間期	2021年9月中間期比
(1) 資金運用利回 (A)	0.82	0.81	△ 0.01
(イ) 貸出金利回 (B)	0.85	0.83	△ 0.02
(ロ) 有価証券利回	0.96	1.06	0.10
(2) 資金調達原価 (C)	0.55	0.48	△ 0.07
(イ) 預金等原価 (D)	0.63	0.59	△ 0.04
(ロ) 預金等利回	0.00	0.00	0.00
(ハ) 経費率	0.63	0.58	△ 0.05
(3) 預貸金利鞘 (B) - (D)	0.22	0.24	0.02
(4) 総資金利鞘 (A) - (C)	0.27	0.33	0.06

(参考) うち国内業務部門

(%)

	2021年9月中間期	2022年9月中間期	2021年9月中間期比
(1) 資金運用利回 (A)	0.77	0.76	△ 0.01
(イ) 貸出金利回 (B)	0.85	0.82	△ 0.03
(ロ) 有価証券利回	0.83	0.87	0.04
(2) 資金調達原価 (C)	0.55	0.46	△ 0.09
(イ) 預金等原価 (D)	0.62	0.58	△ 0.04
(ロ) 預金等利回	0.00	0.00	0.00
(ハ) 経費率	0.62	0.57	△ 0.05
(3) 預貸金利鞘 (B) - (D)	0.23	0.24	0.01
(4) 総資金利鞘 (A) - (C)	0.22	0.30	0.08

4. ROE

【十六FG連結】

(%)

	2021年9月中間期	2022年9月中間期	2021年9月中間期比
株主資本ベース	6.47	6.09	△ 0.38
純資産ベース	5.18	5.29	0.11

(注) 1. 分母となる株主資本平均残高および純資産平均残高は、(期首残高+期末残高)÷2により算出しております。

2. 株主資本=株主資本合計(=純資産の部合計-新株予約権-非支配株主持分-その他の包括利益累計額合計)

3. 純資産=純資産の部合計-新株予約権-非支配株主持分

【十六銀行単体】

(%)

	2021年9月中間期	2022年9月中間期	2021年9月中間期比
株主資本ベース	6.72	6.50	△ 0.22
純資産ベース	5.36	5.59	0.23

(注) 1. 分母となる株主資本平均残高および純資産平均残高は、(期首残高+期末残高)÷2により算出しております。

2. 株主資本=株主資本合計(=純資産の部合計-新株予約権-評価・換算差額等合計)

3. 純資産=純資産の部合計-新株予約権

5. 有価証券の評価損益

【十六FG連結】

(百万円)

	2022年3月末			2022年9月末			
	評価損益	評価損益		評価損益	2022年3月末比	評価損益	
		評価益	評価損			評価益	評価損
満期保有目的	65	280	215	△ 5	△ 70	220	225
その他有価証券	69,798	90,822	21,024	30,578	△ 39,220	74,441	43,862
株式	86,673	88,137	1,464	70,323	△ 16,350	71,973	1,649
債券	△ 7,283	1,232	8,515	△ 14,527	△ 7,244	584	15,112
その他※	△ 9,591	1,453	11,044	△ 25,216	△ 15,625	1,883	27,100
合計	69,863	91,103	21,240	30,573	△ 39,290	74,662	44,088
株式	86,673	88,137	1,464	70,323	△ 16,350	71,973	1,649
債券	△ 7,218	1,512	8,731	△ 14,533	△ 7,315	805	15,338
その他※	△ 9,591	1,453	11,044	△ 25,216	△ 15,625	1,883	27,100

【十六銀行単体】

(百万円)

	2022年3月末			2022年9月末			
	評価損益	評価損益		評価損益	2022年3月末比	評価損益	
		評価益	評価損			評価益	評価損
満期保有目的	66	281	215	△ 4	△ 70	221	225
その他有価証券	68,908	89,933	21,024	30,192	△ 38,716	74,054	43,862
株式	85,783	87,248	1,464	69,936	△ 15,847	71,586	1,649
債券	△ 7,283	1,232	8,515	△ 14,527	△ 7,244	584	15,112
その他※	△ 9,591	1,453	11,044	△ 25,216	△ 15,625	1,883	27,100
合計	68,974	90,215	21,240	30,187	△ 38,787	74,276	44,088
株式	85,783	87,248	1,464	69,936	△ 15,847	71,586	1,649
債券	△ 7,217	1,513	8,731	△ 14,532	△ 7,315	806	15,338
その他※	△ 9,591	1,453	11,044	△ 25,216	△ 15,625	1,883	27,100
デリバティブ取引(繰延ヘッジ)※	—			691	691		

(注) 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。

※ 「その他」のうち、外国債券については、時価変動リスクを低減する目的でデリバティブ取引による繰延ヘッジを行っております。

6. 自己資本比率（国内基準）

「自己資本の構成に関する開示事項」につきましては当社ホームページに掲載いたします。  
 (掲載ページアドレス <https://www.16fg.co.jp/ir/kessan/>)

【十六FG連結】

(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2022年9月末	
				2021年3月末比	2022年3月末比
(1) 自己資本比率(4)/(5)	9.93%	10.52%	10.67%	0.74%	0.15%
(2) コア資本に係る基礎項目の額	330,569	346,918	353,717	23,148	6,799
(3) コア資本に係る調整項目の額	15,250	16,245	16,427	1,177	182
(4) 自己資本の額 (2)-(3)	315,318	330,672	337,290	21,972	6,618
(5) リスク・アセット等の額の合計額	3,173,584	3,140,317	3,158,624	△ 14,960	18,307
(6) 総所要自己資本額(5)×4%	126,943	125,612	126,344	△ 599	732

【十六銀行連結】※

(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2022年9月末	
				2021年3月末比	2022年3月末比
(1) 自己資本比率(4)/(5)	9.93%	9.58%	9.71%	△ 0.22%	0.13%
(2) コア資本に係る基礎項目の額	330,569	308,667	314,556	△ 16,013	5,889
(3) コア資本に係る調整項目の額	15,250	14,427	14,737	△ 513	310
(4) 自己資本の額 (2)-(3)	315,318	294,240	299,819	△ 15,499	5,579
(5) リスク・アセット等の額の合計額	3,173,584	3,069,245	3,086,294	△ 87,290	17,049
(6) 総所要自己資本額(5)×4%	126,943	122,769	123,451	△ 3,492	682

【十六銀行単体】

(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2022年9月末	
				2021年3月末比	2022年3月末比
(1) 自己資本比率(4)/(5)	9.35%	9.34%	9.46%	0.11%	0.12%
(2) コア資本に係る基礎項目の額	300,319	297,875	303,993	3,674	6,118
(3) コア資本に係る調整項目の額	9,132	11,022	12,023	2,891	1,001
(4) 自己資本の額 (2)-(3)	291,186	286,852	291,970	784	5,118
(5) リスク・アセット等の額の合計額	3,111,750	3,068,576	3,085,541	△ 26,209	16,965
(6) 総所要自己資本額(5)×4%	124,470	122,743	123,421	△ 1,049	678

(注) リスク・アセット等の額のうち、信用リスクに関しては標準的手法、オペレーショナル・リスクに関しては粗利益配分手法を適用しております。

※ 十六銀行連結の自己資本比率につきましては、組織再編により連結子会社が2021年3月末7社から2022年3月末2社に減少しております。

Ⅲ 貸出金等の状況

1. 銀行法、金融再生法に基づく不良債権の状況

【十六FG連結】

(百万円、%)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2021年3月末比		2022年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,223	12,287	12,873	△ 350		586	
危険債権	55,705	56,831	54,406	△ 1,299		△ 2,425	
要管理債権	2,719	2,262	2,335	△ 384		73	
三月以上延滞債権	51	19	5	△ 46		△ 14	
貸出条件緩和債権	2,668	2,243	2,330	△ 338		87	
合計 (A)	71,648	71,381	69,615	△ 2,033		△ 1,766	
正常債権	4,569,537	4,613,944	4,664,570	95,033		50,626	
総与信 (B)	4,641,186	4,685,326	4,734,186	93,000		48,860	
保全額 (C)	59,351	57,990	57,208	△ 2,143		△ 782	
貸倒引当金	19,135	17,941	18,021	△ 1,114		80	
担保保証等	40,215	40,048	39,187	△ 1,028		△ 861	
総与信に占める割合 (A) / (B)	1.54	1.52	1.47	△ 0.07		△ 0.05	
保全率 (C) / (A)	82.83	81.24	82.17	△ 0.66		0.93	

【十六銀行単体】

(百万円、%)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2021年3月末比		2022年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	12,139	11,226	11,750	△ 389		524	
危険債権	54,439	55,232	53,038	△ 1,401		△ 2,194	
要管理債権	2,719	2,262	2,335	△ 384		73	
三月以上延滞債権	51	19	5	△ 46		△ 14	
貸出条件緩和債権	2,668	2,243	2,330	△ 338		87	
合計 (A)	69,299	68,721	67,124	△ 2,175		△ 1,597	
正常債権	4,516,457	4,561,809	4,611,651	95,194		49,842	
総与信 (B)	4,585,756	4,630,531	4,678,775	93,019		48,244	
保全額 (C)	59,083	57,522	56,687	△ 2,396		△ 835	
貸倒引当金	17,551	16,376	16,422	△ 1,129		46	
担保保証等	41,532	41,145	40,265	△ 1,267		△ 880	
総与信に占める割合 (A) / (B)	1.51	1.48	1.43	△ 0.08		△ 0.05	
保全率 (C) / (A)	85.25	83.70	84.45	△ 0.80		0.75	

<部分直接償却を実施した場合>

(百万円、%)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2021年3月末比		2022年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,875	5,236	4,937	62		△ 299	
危険債権	54,439	55,232	53,038	△ 1,401		△ 2,194	
要管理債権	2,719	2,262	2,335	△ 384		73	
三月以上延滞債権	51	19	5	△ 46		△ 14	
貸出条件緩和債権	2,668	2,243	2,330	△ 338		87	
合計 (A)	62,035	62,731	60,311	△ 1,724		△ 2,420	
総与信 (B)	4,578,492	4,624,541	4,671,962	93,470		47,421	
総与信に占める割合 (A) / (B)	1.35	1.35	1.29	△ 0.06		△ 0.06	

2. 業種別貸出状況等

①業種別貸出金【十六銀行単体】

(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2022年9月末	
				2021年3月末比	2022年3月末比
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	4,509,863	4,550,493	4,600,684	90,821	50,191
製造業	644,928	607,906	602,277	△ 42,651	△ 5,629
農業、林業	5,208	4,980	4,766	△ 442	△ 214
漁業	38	12	9	△ 29	△ 3
鉱業、採石業、砂利採取業	5,915	5,840	5,747	△ 168	△ 93
建設業	146,610	142,010	135,537	△ 11,073	△ 6,473
電気・ガス・熱供給・水道業	56,814	53,245	53,970	△ 2,844	725
情報通信業	19,782	15,005	12,537	△ 7,245	△ 2,468
運輸業、郵便業	120,217	112,726	113,218	△ 6,999	492
卸売業、小売業	299,786	281,719	283,103	△ 16,683	1,384
金融業、保険業	160,021	214,153	255,785	95,764	41,632
不動産業、物品賃貸業	524,018	492,800	485,390	△ 38,628	△ 7,410
学術研究、専門・技術サービス業	22,887	21,772	19,951	△ 2,936	△ 1,821
宿泊業	15,418	15,271	15,158	△ 260	△ 113
飲食業	20,318	19,541	18,667	△ 1,651	△ 874
生活関連サービス業、娯楽業	42,640	39,439	36,932	△ 5,708	△ 2,507
教育、学習支援業	6,818	6,284	6,101	△ 717	△ 183
医療・福祉	104,442	97,458	96,095	△ 8,347	△ 1,363
その他のサービス	38,471	35,907	34,928	△ 3,543	△ 979
地方公共団体	454,000	461,543	460,637	6,637	△ 906
その他	1,821,532	1,922,882	1,959,876	138,344	36,994

②消費者ローン残高【十六銀行単体】

(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2022年9月末	
				2021年3月末比	2022年3月末比
消費者ローン残高	1,970,590	2,062,276	2,095,484	124,894	33,208
うち住宅ローン残高	1,940,461	2,030,470	2,062,540	122,079	32,070
うちその他ローン残高	30,129	31,806	32,944	2,815	1,138

③中小企業等貸出比率【十六銀行単体】

(%)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2022年9月末	
				2021年3月末比	2022年3月末比
中小企業等貸出比率	76.41	76.71	76.54	0.13	△ 0.17

3. 預金等、貸出金の残高【十六銀行単体】

(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2022年9月 中間期	2022年9月	
				2021年3月期比	2022年3月期比
預金等(末残)	6,137,891	6,278,736	6,285,856	147,965	7,120
(平残)	5,969,807	6,206,664	6,325,309	355,502	118,645
貸出金(末残)	4,509,863	4,550,493	4,600,684	90,821	50,191
(平残)	4,446,461	4,516,882	4,559,245	112,784	42,363

IV 2023年3月期の業績予想

【十六FG連結】

(百万円)

	2022年3月期(実績)	2023年3月期(予想)
経常利益	26,798	25,500
親会社株主に帰属する当期純利益	17,191	17,500

【十六銀行単体】

(百万円)

	2022年3月期(実績)	2023年3月期(予想)
経常利益	24,551	23,200
当期純利益	17,326	16,500
実質業務純益	18,093	20,200
コア業務純益	28,929	27,500
与信関係費用	2,515	2,000

上記の業績予想は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであります。実際の業績は、経営環境の変化などにより、予想対比異なる可能性があることにご留意ください。

(ご参考)

1. 個人預り資産残高【十六銀行単体】

(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末	2022年9月末	
				2021年3月末比	2022年3月末比
預金等	4,138,093	4,285,327	4,341,033	202,940	55,706
投資信託	121,715	147,155	141,348	19,633	△ 5,807
公共債	17,853	14,098	13,230	△ 4,623	△ 868
個人年金保険等	693,940	735,575	774,946	81,006	39,371
合計	4,971,603	5,182,156	5,270,559	298,956	88,403
(ご参考) 十六TT証券預り資産	170,067	186,986	188,630	18,563	1,644
(ご参考) 十六銀行+十六TT証券	5,141,670	5,369,143	5,459,189	317,519	90,046

2. 役務取引等利益【十六銀行単体】

(百万円)

	2020年9月 中間期	2021年9月 中間期	2022年9月 中間期	2022年9月	
				2020年9月中間期比	2021年9月中間期比
法人関連	883	930	1,370	487	440
預り資産関連	1,915	3,024	3,580	1,665	556
内国為替手数料その他	1,702	1,571	1,313	△ 389	△ 258
合計	4,500	5,527	6,265	1,765	738
(ご参考) 十六TT証券預り資産関連収益	1,184	1,718	1,603	419	△ 115
(ご参考) 十六銀行+十六TT証券	5,685	7,246	7,868	2,183	622

3. 十六銀行の中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当中間会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	2,132,578	965,894
コールローン	—	10,000
商品有価証券	115	481
金銭の信託	7,011	7,016
有価証券	1,459,637	1,401,554
貸出金	4,550,493	4,600,684
外国為替	8,861	6,828
その他資産	83,883	65,827
その他の資産	83,883	65,827
有形固定資産	53,843	53,355
無形固定資産	5,327	5,285
前払年金費用	9,487	11,008
支払承諾見返	14,244	15,792
貸倒引当金	△ 23,406	△ 22,750
資産の部合計	8,302,077	7,120,981
<b>負債の部</b>		
預金	6,244,736	6,251,856
譲渡性預金	34,000	34,000
売現先勘定	133,747	92,167
債券貸借取引受入担保金	87,537	39,543
借入金	1,384,229	307,661
外国為替	1,594	2,120
その他負債	21,944	27,559
未払法人税等	2,359	3,714
資産除去債務	207	209
その他の負債	19,377	23,635
賞与引当金	1,016	1,010
退職給付引当金	6,040	6,020
睡眠預金払戻損失引当金	502	421
偶発損失引当金	519	491
繰延税金負債	13,667	3,230
再評価に係る繰延税金負債	6,407	6,401
支払承諾	14,244	15,792
負債の部合計	7,950,190	6,788,278



(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当中間会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
資本金	36,839	36,839
資本剰余金	46,473	46,473
資本準備金	27,817	27,817
その他資本剰余金	18,656	18,656
利益剰余金	207,161	214,873
利益準備金	20,154	20,154
その他利益剰余金	187,007	194,719
別途積立金	167,700	167,700
繰越利益剰余金	19,307	27,019
株主資本合計	290,474	298,186
その他有価証券評価差額金	48,944	21,578
繰延ヘッジ損益	—	484
土地再評価差額金	12,468	12,453
評価・換算差額等合計	61,413	34,516
純資産の部合計	351,887	332,703
負債及び純資産の部合計	8,302,077	7,120,981

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
経常収益	39,101	41,562
資金運用収益	26,929	27,356
(うち貸出金利息)	19,307	18,983
(うち有価証券利息配当金)	7,310	7,264
役務取引等収益	8,379	9,022
その他業務収益	2,330	3,136
その他経常収益	1,461	2,047
経常費用	25,250	27,341
資金調達費用	76	776
(うち預金利息)	110	88
役務取引等費用	2,852	2,757
その他業務費用	1,412	5,322
営業経費	18,841	17,734
その他経常費用	2,065	750
経常利益	13,851	14,221
特別利益	15	16
特別損失	19	89
税引前中間純利益	13,846	14,148
法人税、住民税及び事業税	3,949	3,596
法人税等調整額	△ 111	957
法人税等合計	3,838	4,554
中間純利益	10,008	9,593